

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-118873(P2010-118873A)

【公開日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2008-290330(P2008-290330)

【国際特許分類】

H 0 4 W 12/06 (2009.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 1 8 3

H 0 4 M 11/00 3 0 2

G 0 9 C 1/00 6 4 0 E

H 0 4 Q 7/00 6 2 9

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月24日(2011.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

他の通信機器との距離を測定する測定手段と、  
前記測定手段による測定結果に基づいて選択した通信機器に対して認証を行う認証手段と、  
を備えることを特徴とする通信機器。

【請求項 2】

他の通信機器を探索する探索手段を更に有し、  
前記測定手段は、前記探索手段により探索された通信機器との距離を測定することを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 3】

認証開始のトリガをユーザから受け付けると、前記探索手段は、他の通信機器を探索することを特徴とする請求項 2 に記載の通信機器。

【請求項 4】

前記測定手段は、他の通信機器に対する所定のパケットの往復時間に基づいて距離を測定することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか 1 項に記載の通信機器。

【請求項 5】

前記往復時間は、他の通信機器に所定のパケットを送信してから、該パケットの応答パケットを受信するまでの時間であることを特徴とする請求項 4 に記載の通信機器。

【請求項 6】

前記認証手段は、前記測定手段による測定の結果、距離の短い順に認証処理を行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の何れか 1 項に記載の通信機器。

【請求項 7】

前記測定手段は、認証受付状態である通信機器との距離を測定することを特徴とする請

求項 1 乃至請求項 6 の何れか 1 項に記載の通信機器。

【請求項 8】

前記測定手段は、測距機能のサポート状況に基づいて選択した通信機器との距離を測定することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 の何れか 1 項に記載の通信機器。

【請求項 9】

通信機器の制御方法であって、  
測定手段が、前記通信機器に、他の通信機器との距離を測定する測定工程と、  
認証手段が、前記測定工程において測定された結果に基づいて選択した通信機器に対し  
て認証を行う認証工程と、  
を有することを特徴とする通信機器の制御方法。

【請求項 10】

コンピュータを請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の通信機器の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信機器及びその制御方法